



体験・体感型安全教育

日油グループは、労働災害防止のための教育手段として、疑似的に危険性を経験として学ぶ体験・体感型安全教育を導入し、従業員の危険に対する感受性や安全意識の向上を図っています。

外部教育を主に行ってきましたが、社内にも体感教育を導入し、より現場に即した教育にも取り組んでいます。



危険体感教育(尼崎工場)



安全実技体験研修(大分工場)

個人の「安全実行宣言」活動(国内グループ)

2011年度に発生した労働災害の要因分析結果から、危険感覚の欠如、不注意などの人的要因による労働災害を撲滅するためには、安全意識の底上げが必要と判断しました。2012年度より、各人が労働安全に関する行動目標を自ら設定し活動する「安全実行宣言活動」を継続実施しています。場内の協力会社を含め全員の安全実行宣言を掲示板で公開するなど、各工場ごとに工夫して取り組んでいます。



日油グループのRC教育訓練

日油グループの全従業員がRCに関して理解を深めるために教育に力を入れています。2023年度は、のべ42,890人が参加し、のべ時間27,059時間のRC関連の教育訓練を実施しました。



集合教育 (日油工業㈱)



集合教育 (大分工場)

2023年度 RC教育訓練 日油グループ

分野	のべ参加人数 (人)	のべ時間 (時間)
RC全般	5,538	3,814
労働安全	25,882	17,092
環境安全	3,253	1,920
製品安全	5,604	2,941
設備安全	2,255	862
物流安全	358	430
総計	42,890	27,059



BCP訓練・教育

全国的な地震による甚大な被害を想定し、国内の全生産箇所と連携した全社合同訓練を初めて実施しました。この訓練では、本社の非常事態対策本部と各生産拠点の間での円滑な情報共有と協力体制を構築することに焦点を当て、策定しているBCPの有効性を確認し、改善につなげています。

また、感染症の流行やサイバー攻撃などの非常事態に備えたBCPの整備や教育に関しても、継続的な取り組みを行い、積極的にBCPの拡充を図っています。



全社合同訓練（本社）



全社合同訓練（オンライン：愛知事業所）



全社合同訓練（非常事態対策本部）



防災訓練

日油グループでは、有機過酸化物をはじめとする危険物、火薬類を製造し、災害発生時に社内外への被害を最小限でとどめることを最重要事項と考え、積極的に防災訓練に取り組んでいます。特に地域組織との合同防災訓練を定期的実施することで、地域と一丸になった災害対策の強化を図っています。

また、地元自衛消防隊消火操法大会などにも積極的に参加することで、消火技術の向上と地域へ安全意識の高さをアピールしています。



最初期消火訓練 (大分工場)



防災訓練 (日油技研工業㈱)



コンビナート消防競技大会 (大分工場)



防災訓練 (尼崎工場)



防災訓練 (日油工業㈱)



コンビナート排水口トラブル対応訓練 (大分工場)



自衛消防隊操法大会 (尼崎工場)